

代	天皇名	在位期間	年数	年齢	諡名／名	備考	
1	神武(シム)	660	585	75	127?	神日本磐余彦尊(カムヤマトイワレヒコ)	初代天皇、邪馬台国より東遷?
2	綏靖(スイセイ)	581	549	32	84?	神淳名川耳尊(カムヌナカワミ)	欠史1代
3	安寧(アンネイ)	549	511	38	67?	磯城津彦玉手看尊(シキツヒコタマテミ)	欠史2代
4	懿德(イトク)	510	477	33	77?	大日本彦耜友尊(オオヤマトヒコスキトモ)	欠史3代
5	孝昭(コウショウ)	475	393	82	114?	觀松彦香殖稻尊(ミマツヒコエネ)	欠史4代
6	孝安(コウアン)	392	291	101	137?	日本足彦國押人尊(ヤマトタリシヒコクニオシト)	欠史5代
7	孝靈(コウレイ)	290	215	75	128?	大日本根子彦大瓊尊(オオヤマトネヒコフナ)	欠史6代
8	孝元(コウゲン)	214	158	56	116?	大日本根子彦國牽尊(オオヤマトネヒコクニケ)	欠史7代
9	開化(カイカ)	158	98	60	111?	稚日本根子彦大日尊(ワカヤマトネヒコオホヒ)	欠史8代
10	崇神(スジ)	97	30	67	119?	御間城入彦五十瓊殖尊(ミマキイヒコニエ)	初の実在天皇説有り 出雲神宝事件
11	垂仁(スイニン)	29	70	141	139?	活目入彦五十狹茅尊(イクメイヒコイサチ)	皇女が倭姫命 この天皇時、第一回出雲大社造営説有り
12	景行(ケイコウ)	71	130	59	143?	大足彦忍代別尊(オオタラシヒコシロワケ)	九州熊襲征伐
13	成務(セイム)	131	190	59	107?	稚足彦尊(ワカタラシヒコ)	大臣竹内宿禰が政務を総括
14	仲哀(チュウアイ)	192	200	8	?	足仲彦尊(タシナカツヒコ)	熊襲征伐中に筑紫で没
15	応神(オウジン)	270	310	40	111?	誉田別尊(ホムタワケ)、大磐和氣命(オオトモケ)	全国八幡神宮の祭神、神功皇后が宇美で出産
16	仁徳(ニトク)	313	399	86	143?	大鷦鷯尊(オオササギ)、難波天皇	陵墓は世界最大
17	履中(リチュウ)	400	405	5	?	大兄去来穂別尊(オオエノイザホケ)	倭王 讚?
18	反正(ハンゼイ)	406	410	4	?	多遲比瑞齒別尊(タジヒミスハケ)	履中の同母弟、倭王 珍?
19	允恭(インキョウ)	412	453	41	?	雄朝津間稚子宿禰尊(オオササマワコノスクネ)	反正の弟、倭王「済」
20	安康(アンコウ)	453	456	3	56?	穴穗尊(アナホ)	倭王「興」
21	雄略(ユウリヤク)	456	479	23	62?	大泊瀬幼武尊(オオハツセワカケ)	倭王「武」
22	清寧(セイネイ)	480	484	4	41?	白髮武廣國推稚日本根子尊(シラガタケヒロクニオシワカヤマトネ)	非実在説もあり。
23	顕宗(ケンソウ)	485	487	2	38?	弘計尊(ケ)	履中の曾孫、兄と皇位を譲りあい
24	仁賢(ニケン)	488	498	10	50?	億計尊(オケ)、大脚島郎	顕宗の兄、雄略の女を皇后とした
25	武烈(フレイ)	498	506	8	18?	小泊瀬稚鷦鷯尊(オハツセワカササギ)	紀では残虐性を記す、平郡真鳥親子を殺害
26	継体(ケイトイ)	507	531	24	82	男大迹王(オホ)、彦太尊(ヒコフ)	越前から招いた天皇? 万世一系断絶の疑い説有り
27	安閑(アンカン)	531	535	4	70	勾大兄廣國押武金日尊(マカリノオオヒロクニオシタケカナヒ)	継体天皇の第一皇子
28	宣化(センカ)	535	539	4	73	武小廣國押盾尊(タケオヒロクニオシタテ)	継体の第二皇子
29	欽明(キンメイ)	539	571	32	63	天國排開廣庭尊(アマノニシラキヒロニワ)	継体の第四皇子
30	敏達(ヒダツ)	572	585	13	48	詛語田淳中倉太珠敷尊(オサダノナクワタマシキ)	天然痘大流行、天皇も病で崩御
31	用明(ヨウメイ)	585	587	2	48	橘豊日尊(タチバナトヒ)	これより飛鳥時代、物部・蘇我の対立に決着物部大連家は滅亡
32	崇峻(シュン)	587	592	5	?	泊瀬部(ハツセ)、長谷部若雀命(ハツセノワカサギ)	大臣・蘇我馬子
33	推古(スイコ)	592	628	36	75	額田部(ヌカタ)、豊御食炊屋姫尊(トヨミケシキヤヒメ)	我が国初の女帝、聖徳太子を摂政とする
34	舒明(シュメイ)	629	641	12	49	田村(タムラ)、息長足日廣額尊(オキナガタラシヒロカ)	父:押坂彦人大兄皇子、大臣:蘇我蝦夷の姉が妃
35	皇極(コウキョク)	642	645	3	68	宝(タカラ)、天豊財重日足姫尊(アマトヨカライシヒタラシヒメ)	女帝 大臣:蘇我蝦夷 → 乙巳(いつし)の変
36	孝德(コウトク)	645	654	9	59	輕、天万豊日尊(アマノトヨヒ)	中大兄皇子・中臣鎌子の傀儡、大化の改新
37	斉明(サイメイ)	655	661	6	68		女帝 皇極の重祚(再度即位する事)百濟救援軍大敗 出雲大社
38	天智(テンジ)	661	671	10	46	中大兄、天命開別尊(アマトコヒラスワケ)	飛鳥から近江へ遷都
39	弘文(コウブン)	671	672	1	25	大友皇子(オオトモノウジ)	皇妃:十市皇女、明治3年に皇位追贈
40	天武(テンム)	673	686	13	56	大海人皇子(オオアモノオジ)	壬申の乱後即位、皇女を齋宮(イツキミヤ)とする
41	持統(ジツウ)	686	697	11	58	鸕野讃良(ウノササ)	女帝 天智の娘で天武の後 藤原宮造営
42	文武(モンム)	697	707	10	25	珂瑠(カル)、倭根子豊祖父天皇(ヤマトネコトオジ)	天武の子である草壁の子、大宝律令制定
43	元明(ゲンメイ)	707	715	8	61	阿閉皇女(アヘヒミコ)	女帝 草壁の妃、母:蘇我姪娘
44	元正(ゲンショウ)	715	724	9	69	氷高(ヒタカ)、新家(ニイミ)	女帝 養老律令制定、独身 出雲大社完成説有り
45	聖武(ショウム)	724	749	25	56	首(オヒト)	長屋王の変、藤原広嗣の乱
46	孝謙(コウケン)	749	758	9	53	阿倍、高野姫	女帝 橘奈良麻呂の乱、
47	淳仁(ジュニン)	758	764	6	33	大炊、淡路廢帝	惠美押勝の反乱時に廢帝となる
48	称徳(ショウトク)	764	770	6	53		女帝 孝謙の重祚、弓削道鏡を法王とする
49	光仁(コウニン)	770	781	11	73	白壁	天智の孫、蝦夷を大伴駿河麿に撃たせる
50	桓武(カンム)	781	806	25	70	山部(ヤマノヘ)	坂上田村麻呂をして蝦夷を平定。平安京の始まり。
109	明正(メイショウ)	1629	1643	14	74	興子(オキコ)	平安以来の女帝。徳川の圧迫を逃れる為女帝が即位。
117	後桜町(ゴサクラマチ)	1762	1770	8	74	智子(トシコ)	女帝。次の後桃園天皇が幼かった為暫時即位。

女帝は10回。皇極と斉明は同一、孝謙と称徳も同一なので、実質は8人。

三省堂 日本史年表他による